



拓殖大の3代学長を務めた後藤新平について語る渡辺利夫総長

拓殖大の釜石支援「今後も」

協定1周年で総長

釜石市と釜石商工会議所は22日、同市と拓殖大(東京都文京区)の震災復興支援協定締結1周年を記念し、同大の渡辺利夫総長の講演会を市内のホテルで開いた。渡辺総長は「(支援活動を)今後もずっと続けていくつもりだ」と、釜石への長期的な支援を誓った。

市内外の関係者ら約50人が参加。渡辺総長は講演を前に、同市との協定締結について「触れ」学生に人間的に

成長する機会を与えていただき、こちらが感謝している」と述べた。

講演では、同大の3代学長を務めた後藤新平の自治三訣をテーマに、後藤の人生などについて語り「常識を深く考え、政治の実践の場に用いた人。それが台湾統治の中にある。『偉大なる常識人』という評が自分の考えだ」と語った。

同市と同大は昨年10月22日、支援協定を締結。同大は市内小中学生対象の理科教室やサッカー教室、花壇作りなどボランティア活動を展開している。